

2018 InterRidge-Japan 連絡会

日時 2018年5月23日

場所 幕張メッセ 106室

出席者 川口, 布浦, 島, 阿部, 新井, 藤井, 松野, 戸塚, 石橋, 熊谷, 佐藤(ひ), 小原, 秋澤, 山中, 木下, 針金, 砂村

議事メモ

1. 去年の StComm 報告 (富士原)

- 2017.7.21-21 にパリの IPGP で Steering Committee が行われた。参加者は仏・独・英・ノルウェー・米・印・中・韓・日
- ノルウェーが Principal になる宣言。英国は Regular に。
- WG 審査は、より目的を鮮明に、かつ国際連携になるようにコメントを添えて5件とも revise を指示 (その後2つを承認)
- Fellowship は5件応募, 3件採択。Cruise bursary は6件応募3件採択
- 予算の余裕があるので、ホームページの更新を行う。+ Theoretical Institute のための積み立て案。
- Principal Rule についての議論があった。Principal 国の十分な特権を約束する必要があるが、予算をより柔軟に運用したい。
- 不活発な National Correspondent がいるので定期的に更新したいが、実行するのはかなり難しい。
- SCOR-IIOE2 (インド洋研究の枠組み)にコミットしよう。
- Code of conduct を整えてから時間が立ったので見直しが必要か。今後生物コミュニティの意見を集約して、次回 StComm で議論。
- ISA23 回会議に招待されているので、議長とコーディネータが参加する。IR は従来どおり、独立・中立・科学的立場を取る。
- フランスオフィスを2019年まで継続するよう全会一致で希望。ただし、CNRS に承認してもらうのは簡単ではない。
- 次回は2018.6.20-22 にノルウェー・ベルゲンで。

2. その後の国際情勢 (川口)

- WG はその後2つはメール審議で承認された。Oceanic Transform

Faults は沖野が参加 (JpGU の重なってワークショップが開催されているので日本の活動のポスターを送ってある), Integrating Multidisciplinary Observations in Vent Environments (IMOVE).

- Pending の3つは, Resources, MOR Islands and seamounts が revise 提案が提出されている. Seamounts には海野さんの名前が入っている. Circum-Antarctic の延長.
- 今年の Fellowship は 6 件応募, 3 件採択. 日本から 1 件応募して落選している (サイエンスがしっかりしていない).
- Cruise bursary は 2000USD で結果未通知.

3. 国内関連 (沖野)

- StComm 委員は川口さん (2017-2020)
- Membership Fee (Regular \$5000)は 2018 年分を日本の FY2017 末で支払い済. 大海研\$2500, JAMSTEC\$2500.
- 大海研共同利用集会「海洋リソスフェアの蛇紋岩か作用と物理・科学・生物プロセス~InterRidge-Japan 研究集会~」を 2017.11.27-28 で実施. 111 名参加で大盛況. 幹事は藤井(NIPR),針金(AIST),奥村(JAMSTEC)でお疲れさまでした.
- 昨年共同利用応募をしておらず, 今年集会なし. 今年応募の予定. トピックスとしては, オマーン掘削がまとまった結果が出てくるの d スペシャルセッション. 他はオープン.
- IR-Japan の予算は, 寄付収入と部屋代支出のみで, 現在 11,511 円. 今年の会場借料の寄付募集.

4. 情報交換: 航海情報

- YK-18-07 よこすか+しんかい 6500 2018.6 (PI 沖野): MOWALL-PVB として海洋性地殻生成の時間変動を追うプロジェクト. パレスベラリフトで4潜航.
- KH-18-02 白鳳丸 2018.7 (PI 小原) 四国海盆の OCC 海域とプチスポット海域でドレッジ予定.
- 白鳳丸の南大洋航海があるので, 地球物理関係乗船希望あれば藤井まで.
- チリ海嶺みらい調査 (阿部)

5. 情報交換: 神戸大・深江丸による鬼界カルデラ探査と実習. 深江丸に観測機

器等を整備し、研究教育目的に利用できるようになった。

- 鬼界カルデラ探査(毎年2回) 今年は2018.10.19-11.2, 2019.2.27-3.11. 年2回, 継続的に航海を実施しているので, 観測機器開発で利用したい場合は相談して欲しい.
- 海洋底探査実習1 (学部生向け基礎編) 9月最終週平日4日間(今年度は2018.9.25-28), 瀬戸内海(大阪湾)にて地形・GIガンによる反射法,CTDほか. 申し込み締切7/25.24名まで. 参加費3590円. 単位は参加大学での認定により可能な場合がある.
- 海洋底探査実習2 (4年, 院生向け実践編) 上記の探査航海に乗船する. 10名程度. 探査航海での現場実習を行うので, ぜひ学生の参加を.

6. 情報交換: その他

- 新青丸・白鳳丸とJAMSTEC研究船利用公募の一元化. 新青丸175日と白鳳丸の単年度(新規型と計画航海参加型)30日程度, よこすか・かいいいのあわせて40日の公募を一元的に行う. 募集締切は7月. 応募書式は従来の白鳳丸タイプに近い. データのアーカイブ方式はJAMSTECルールに近い. 当面はMSR申請不要のもののみ. 白鳳丸3カ年については当面議論なし. (沖野)
- 「かいめい」の課題提案型の伊豆弧の調査, pending (熊谷)
- 南極の新学術プロジェクトで低温科学の特集号に日本語レビューで海底探査の記事があるのでご利用ください (藤井)

☆会場費寄付金: 16名 16,000円